

LINE を利用した 介護アシスタントBOT



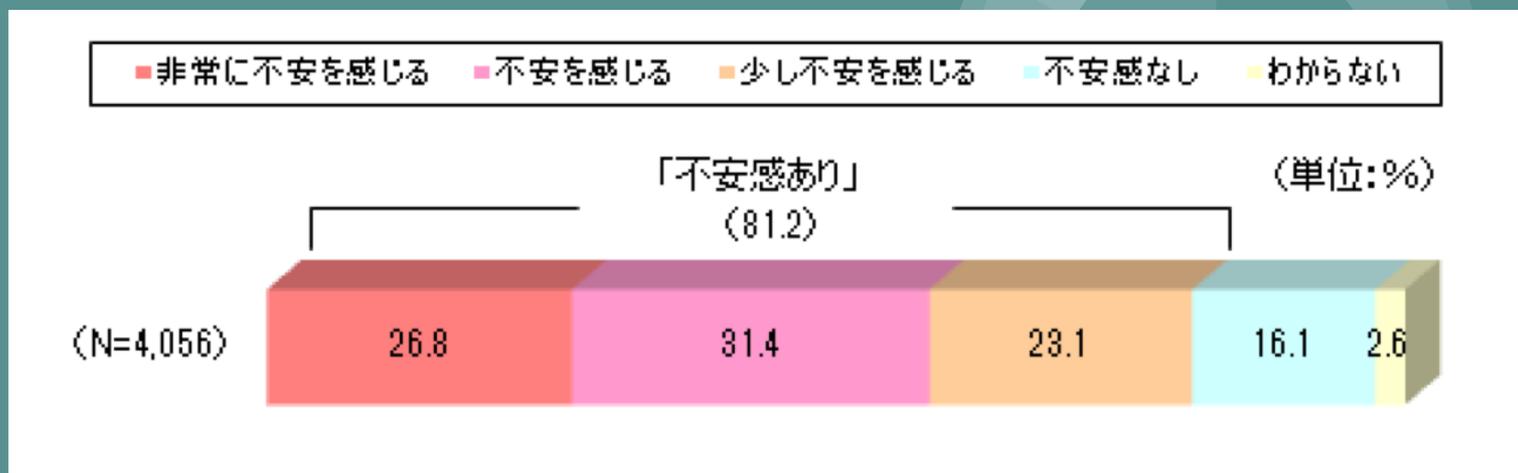
新潟コンピュータ専門学校 西澤功雄

介護に対する不安がたくさん

高齢化社会に突入し、現代に生きる若者も、将来的に「介護」という存在が無視できないものになっています。

政府や、地方自治体でも、介護に関する法やサービスを施行していますが、利用できる保険やサービスが多義に渡っており、やはり介護に対して一定数の不安や、負担は拭えない現状が続いているかと思われます。

親などを介護する場合の不安はありますか？



全体の 81.2% が不安を感じている!

概要・機能

- ・ LINEのアカウントを利用した対話型の提案BOT

→介護レベル、年収、住所、世帯状況に応じて、最適な利用できるサービスを提案する

→対話の中からレポートにまとめて相談窓口を引き継ぐ

→オープンデータ等の更新を収集し、ユーザーに通知

イメージ図

診断

通知



オープンデータの解析

- AI
- スクレイピング
- 形態素解析
- ディープラーニング
- テキストマイニング

オープンデータの収集

"介護" に対して 120 件のデータセット

グループ: **社会保障・衛生** ×

介護・高齢者福祉_介護職員・介護支援専門員

このデータセットには説明がありません

HTML **PDF**

リリース日:

メタデータ更新日: 2014-09-20

介護・高齢者福祉_介護予防_1 これからの介護予防

このデータセットには説明がありません

PDF

リリース日:

メタデータ更新日: 2014-09-20

介護・高齢者福祉_介護報酬

このデータセットには説明がありません

HTML **PDF**

リリース日:

メタデータ更新日: 2014-09-20

介護・高齢者福祉_要介護認定



なぜLINE BOTなのか？

- ・ オープンデータ等の公式文書は堅苦しすぎる！！
- ・ ”LINE”, “チャット”といった現代の若者に近く、利用しやすい形で情報を提案することで、認知度も高まると共に、ユーザー側は、端的にすばやく情報を収集することができると思う。

結果

→ 介護の負担と不安を削減できる